

地方公共団体	大阪府阪南市
所在地	大阪府阪南市尾崎町35番地の1
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	豊かな地域資源(里海・里山)を活用し、地域が支えあう「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しない」持続可能な協働・共創のまちづくりをめざす。
地域の現状・課題	近年、人口減少及び少子高齢化が著しく進行しており、次世代の担い手問題をはじめとする地域経済の低迷化、交流人口の減少などが大きな課題となっている。
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 森、里、川、海が生み出す豊かな自然と景観(山中溪の桜・俎石山・銀の峰・大阪湾で唯一の自然系海岸とアマモ場・3漁港・せんなん里海公園) ◇ 豊かな農水産物(海苔、牡蠣の養殖・さわら・泉たこ・水茄子・なにわ黒牛) ◇ 地域内に存在する歴史的資源(いにしへの4街道:浜街道・井関越街道・紀州街道・信長街道、日本遺産:葛城修験) ◇ 積み重ねてきた地域内で活動する人々の連携(こどもたち・NPO・活動団体)
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す阪南市「ゼロカーボンシティ宣言」の推進 ◇ ブルーカーボン事業の取組(連携自治体として、横浜市のカarbon・オフセット制度を活用させていただき、市内3漁業組合が生産した「養殖わかめ」の吸収・固定するCO₂をクレジットして販売し、これらで得た資金をこどもたちやNPOの環境保全・藻場再生活動に充てることで、豊かな海、漁業の再興につなげる好循環をつくりだす) ◇ 阪南市の自然を活用した海洋教育の実施(現在、市内小学校5校が実施校(うち1校が教育課程特例校)として環境、海洋をテーマに探究型共同学習・アマモ場再生に取り組んでいる) ◇ こどもたちが、長年に渡って取り組んできた海を守る活動「海を守り隊」の更なる推進 ◇ 阪南セブンの海の森活動の推進(企業連携による持続可能な海辺づくりや生き物観察・清掃活動・藻場再生活動等) ◇ 学校給食への地元食材や大阪産(おおさかもん)を使用した郷土料理の提供(地産地消・食育等の推進) ◇ 産官学の連携による「魚庭(なにわ)の海の再生プロジェクト」協同研究の推進(漁獲・生産・流通・消費サイクルの再生:大阪府立大学) ◇ こうした取組をとおし、地域資源の付加価値が高まり、こどもたちの環境意識向上と地域への愛着が深まることで、若い世代が将来にわたって住み続けたい、また帰ってきたくなる魅力的で持続可能なまちをめざす
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	<p>(環境) 環境保全活動や海洋教育の推進による市民の環境意識向上と地域産業の担い手の育成</p> <p>(経済) 雇用創出と地域経済の活性化</p> <p>(社会) シビックプライドの醸成と協力しあい共存する社会の構築を通じた共創による新しい地域価値が創造され、誰もが活躍できるまちの実現</p>



大阪府立自然公園からの眺望



せんなん里海公園と阪南市の街並み



牡蠣の養殖



海を活用した地域学習